〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 Fax. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

5月号
第61巻 第4号
2016年

無料
Free

もくじ

今月の1枚 …… 1ページ
・企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」を終えて
イベントのご案内 …… 2～3ページ
・付属園まつり
・山の歴史ウォーキング　体感！ 山岳文化都市おおまち ―平野口編―
博物館のひろば …… 4ページ
・企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」講演会
・企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」ギャラリートーク
・保育園・小学校による企画展見学　・市民ホール「さんぱく研究最前線」出張展示
・北アルプス広域連合「10広域研究会」視察による見学
・安曇野アートライン銀座ＮＡＧＡＮＯ展　・『研究紀要』創刊
・市立大町山岳博物館顧問の委嘱
お知らせ …… 4ページ
・人事異動

博物館施設案内はこちら

標本をつくる参加者。命についても考えました。

企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」を終えて

千葉　悟志

平成28年2月13日（土）～4月10日（日）まで、信州大学山岳科学研究所と3回目となる連携企画展を開催いたしました。

この度の企画展では、チョウの眼を通して、北アルプスとその山麓地域の自然、そして人とのかかわりについて、考えていただくことを目的としました。

そこで、この企画には、昆虫生態学を専門とする江田慧子（こうだけいこ）氏（信州大学山岳科学研究所助教：当時）と中村寛志（なかむらひろし）氏（信州大学地域戦略センター特任教授：当時）に1年前から参画いただきました。そのなかで、子どもたちや保護者、また、山岳博物館友の会会員の方に関心を高めていただけるようにと「チョウの観察会」や「モニタリング」の開催を考えました。チョウの観察会は、平成27年の6月から8月の間、月に1回、山岳博物館や近くの旧東山低山帯野外博物館を会場に行い、それ以降は、山博友の会会員の皆さんに、2週間に1度のモニタリングにご協力いただきました。活動を続けるなかで、それぞれが地域の自然環境について考えていただけたのではないでしょうか。

さらに、企画展のなかで開催した記念講演会やギャラリートークには、多くの市民や近隣住民の方に参加いただき、本展への関心の高さがうかがえました。今後も、少しでも地域の核となる人材育成につなげられるような催しを考え、実施していきたいと思います。

（市立大町山岳博物館　学芸員）

イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています。（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご観覧いただけます。）
５月は14日（土）と15日（日）です。

付属園まつり

山岳博物館では、動植物を飼育栽培する付属園（動植物園）を屋外に併設しています。本年度も「付属園まつり」として付属園にいる動物に焦点を当てた各種催しを実施します。付属園の役割や飼育動物についてご説明させていただき、皆様に付属園を身近に感じていただければ幸いです。また、大町市周辺地域の野生動物や自然環境への興味関心の助けとなるようなおまつりです。

4月30日・5月1日・5日には付属園に「おおまぴょん」がやってきます。すべての催しへの参加は無料です。ぜひお越しください。

会　　期　平成28年4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
日　　時　催しごとに日時が異なります。
会　　場　山岳博物館付属園
申し込み　全て不要です。
問い合せ　山岳博物館　TEL 有線 22－0211/ FAX 21－2133

①「どうぶつ写生大会」

付属園の飼育動物を描く写生大会です。参加作品の中から優秀作品約20点を選出し、日本動物園水族館協会中部ブロック写生大会に応募し、優秀作品を表彰します。

また、写生大会が終わった後、全ての参加作品を博物館で展示する写生画展を行います。皆様のご応募をお待ちしております。

□**開催日**　4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
□**時　間**　午前9時～午後4時30分
□**対　象**　未就学児から小学生
□**持ち物**　写生用具
□**申し込み**　当日、山岳博物館窓口にお越しください。画用紙と画板を窓口でお渡しします。

※写生画展は6月18日～7月3日を予定。

②「ふぞくえんスタンプラリー」

付属園の飼育動物を観察しながら、園内に設置してある台紙にオリジナルスタンプを集めてみましょう。全て集めたら、特典の特大スタンプを山岳博物館窓口で押して完成です。スタンプは飼育員の手作りです。今回はどんな絵柄が用意されているのでしょう…？お楽しみに！

□**開催日**　4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）
□**時　間**　午前9時～午後4時30分　※雨天中止
□**申し込み**　どなたでもご参加いただけます。当日、付属園にお越しください。

③「どうぶつ観察ツアー」

付属園で、普段はなかなか近くで見ることができない飼育動物たちを、間近で一緒に観察しませんか。飼育員がご来園の皆さんと一緒に園内を回り、飼育している動物たちのことを詳しくお話します。

□**開催日**　4月30日（土）、
5月1日（日）、5日（木・祝）
□**時　間**　各日とも午前と午後に1回ずつ
ツアーを実施します（約30分）
午前の部　午前10時30分～
午後の部　午後1時30分～
※少雨実施（大雨中止）
□**申し込み**　どなたでもご参加いただけます。
当日、ツアー開始時刻までに付属園入口にお越しください。

④「おおまぴょんとあそぼう」

付属園には、大町市公式キャラクター「おおまぴょん」のモデルとなったニホンカモシカを飼育展示しています。なかなかゆっくりと会える機会の少ない「おおまぴょん」とふれあいませんか？「おおまぴょん」と一緒にお待ちしております。

□**開催日**　4月30日（土）、
5月1日（日）、5日（木・祝）
□**時　間**　午前の部　午前11時～
午後の部　午後2時～
各回30分程度　※雨天時は館内にて
□**申し込み**　どなたでもご参加いただけます。当日、開始時刻までに付属園入口にお越しください。

山の歴史ウォーキング　体感！山岳文化都市おおまち －平野口編－

大町市内にある北アルプスの山岳文化史ゆかりの各所を、学芸員が一緒に歩き解説しながら巡ります。昨年度からシリーズで開催。３回目となる今回は、大町温泉郷から平野口大出周辺までの往復約７㎞のコースを歩き、普段何気なく通っている場所にある山にまつわる地域の歴史を知り、山岳文化都市・大町市の魅力を体感します。

見どころとして、この日、７年に１度の御開帳を迎える西正院・大姥堂では、厨子の扉が開かれる本尊の大姥尊像を拝観し、信州の立山信仰について大町市文化財センターの小林指導員が解説します。

西正院・大姥堂（大町市平野口大出）

■主　催　市立大町山岳博物館
■共　催　大町山岳博物館友の会
■日　時　平成28年６月22日（水）
午前９時～午後３時
※大姥堂の御開帳日、雨天実施
■集　合　大町温泉郷観光協会前　午前９時
■解　散　同上　午後３時
■見学場所　大町温泉郷（集合・出発）→上原遺跡→大出・山の神→西正院・大姥堂→大宮神明社（昼食）→大町温泉郷（到着・解散）
■対象・定員　大人　20人（先着）
■費　用　500円（保険代）
■持ち物　昼食、飲み物、雨具、筆記用具、そのほか各自必要なもの
■申し込み　６月10日（金）までに、電話・FAXまたは直接、山岳博物館へ

博物館のひろば

企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」講演会

平成28年2月13日（土）実施

本展の監修や展示解説書の執筆をしていただいた江田慧子氏（信州大学山岳科学研究所助教）による講演会を開催しました。

講演会には、50人を超える参加者があり、関心の高さが伺えました。江田氏からは、生物多様性とは、どういうことなのか、また、実践されている安曇野市のオオルリシジミや小谷村のギフチョウ・ヒメギフチョウの保全についてもお話をうかがいました。

講演後は、活発な意見交換がなされ、参加された皆さんには、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」ギャラリートーク

平成28年3月20日（日）実施

江田慧子氏によるギャラリートークを午前10時30分～と午後２時～の２回、開催しました。

江田氏からは、長野県は、生物多様性のホットスポット中のホットスポットであること、日本に見られる約250種のチョウのうち、長野県では、約150種を見ることができ、これは、都道府県別に見て１番、２番を争うほどの数であることなどの解説をしていただきました。

また、同時開催の「ちょうちょのりりぃ原画展」の解説では、絵本の制作秘話などについて触れていただき、感心を高めていただきました。

保育園・小学校による企画展見学

わっこひろば「宙（そら）」（大町市内保育園）園児9人：
平成28年２月24日（水）来館
伊那市立伊那小学校6年生32人：
平成28年４月８日（金）来館

市内保育園の園児の皆さんが本展の見学にご来館いただきました。園児の皆さんには、展示内に設けたクイズに回答いただき、本展に向け制作したオリジナル缶バッチをプレゼントさせていただきました。

また、大町市から遠く離れた伊那市からも本展の見学を目的に、伊那小学校の児童の皆さんがご来館くださいました。

本展の見学が目的とあって、真剣にパネルや標本を食い入るように見学され、あわせて、館内の常設展や野外の付属園の展示もご覧いただきました。

博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

大町市役所市民ホールでの「さんぱく研究最前線」出張展示

平成28年2月29日（月）～3月11日（金）

山岳博物館では、2階フロアに「さんぱく研究最前線―北アルプスの自然と人トピックス―」というコーナーを設け、3ヶ月ごと定期的にパネル展示を行っています。ここでは、各分野の博物館スタッフがそれぞれ担当している調査研究や資料収集などについて、最新の出来事や話題を分かりやすく紹介しています。

館内だけではなく、市民の皆さんをはじめより多くの方々にもご覧いただきたいと考え、館内でのパネル展示終了後、大町市役所1階の市民ホールでも出張展示を行うことにしました。今後の出張展示の際には、お気軽にご覧ください。

北アルプス広域連合「10広域研究会」視察による見学

平成28年3月2日（水）来館

長野県内に所在する10地域の広域連合運営協議会会員24人の方々が、本年度は北アルプス広域連合が幹事ということで、大町市の山岳博物館を研修場所に選んでいただき、学芸員の案内で各施設を見学いただきました。

大半の方々が展示改修以降初めての見学ということもあり、「楽しみにしていました」という声をいただき、1時間30分にわたり大町地域の風土の特徴などのお話をまじえて解説を行いました。

3月初旬という寒い時期にも関わらず、スバールバルライチョウなど屋外の付属園の飼育動物も熱心に見学されました。

安曇野アートライン銀座NAGANO展

平成28年3月11日（金）～14日（月）

銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～（通称：銀座NAGANO）は、平成26年10月に東京メトロ銀座駅から徒歩1分の好位置に開設された長野県の情報発信拠点です。

安曇野アートライン推進協議会では昨年度に引き続き、「銀座NAGANO安曇野アートライン展」を開きました。

「本物を」というコンセプトを掲げ原画を持ち寄り、また、ギャラリートーク、ワークショップなど様々なイベントを連日展開しました。

当館では、足立源一郎「日暈　西鎌尾根にて」（昭和22年作）を出展しました。

『研究紀要』創刊

平成28年3月31日（木）発行

当館の博物館活動や北アルプスの自然史と山岳文化史などにかかわる調査研究等に関する学術的な論文・報告等を掲載する刊行物を新たに刊行していくため、平成27年度に当館独自の『研究紀要』を創刊しました。掲載された調査研究の成果は当館の資料収集・保存管理事業や展示等の教育普及事業に有効活用します。

27年度は、『市立大町山岳博物館 研究紀要 第1号（創刊号）』（A4判・カラー 84頁）として発行し、関係機関等へ配布しました。なお、本誌は全文をオンライン版として当館公式ウェブサイト上でも公開する予定ですので、ご高覧ください。

市立大町山岳博物館顧問の委嘱

平成28年4月1日（金）

平成28年4月1日付にて、市立大町山岳博物館の顧問に、当館の元専門員で信州大学名誉教授の小坂共栄氏【写真右】をご委嘱申し上げました。小坂氏はこの3月まで、当館において市内小学校の理科授業からカクネ里雪渓（氷河）学術調査にいたるまでご専門の地質学分野にかかわる各種事業にご尽力をいただきました。4月からは、松本市の松本秀峰中等教育学校の学校長にご就任されています。

今後は顧問として、学術・教育面はもちろん、博物館運営全般についても様々な見地から更なるご指導をいただくこととなります。

お知らせ　人事異動

平成28年4月1日付で、山岳博物館スタッフに次の異動がありました。

〔嘱託職員・専門員〕矢野孝雄（新任）
〔臨時職員・動物飼育員〕多田晴彦（新任）
〔嘱託職員・専門員〕小坂共栄（退職）
〔臨時職員・動物飼育員〕木戸きらら（退職）

なお、以下のスタッフは引き続きかわりありません。

〔館　長〕鳥羽章人　〔副館長〕清水隆寿
〔学芸員〕千葉悟志・関　悟志・佐藤　真
〔嘱託職員・指導員〕西田　均・宮野典夫
〔臨時職員・動物飼育員〕
戸谷諭美・遠藤モナミ・内田木野実
〔臨時職員・事務員〕北村洋子

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
―創立 1951 年―
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

5月号
第61巻 第4号
2016年

発行日　2016（平成28）年4月25日
印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010